

昭和 55 年 春 季 年 会

講 演 予 稿 集

於 東京大学理学部 2 号館講堂

昭和 55 年 5 月 13 日 (火)~16 日 (金)

日 本 天 文 学 会

日本天文学会 1980 年春季年会

プログラム

日時 昭和55年5月13日(火)~16日(金) 午前9時~午後5時
 場所 東京大学理学部2号館講堂(赤門わき) 電話 03-812-2111(大学)
 〒113 東京都文京区本郷 7-3-1

午前	9時	10	11	12	午後	1	2	3	4	5	講演番号
5月13日 (火)	太陽系			理事会	天体力学, 太陽						1~43
5月14日 (水)	位置天文学, 観測機器 情報処理			評議員会	観測機器 情報処理 銀河・宇宙論			懇親会			44~87
5月15日 (木)	高エネルギー 天文学 銀河系 恒星系			写真	銀河系・恒星系			総会			88~123
5月16日 (金)	星間物質・星雲 恒星				恒 星						124~167

- ☆ 講演時間は一題について7分です。講演者は割当時間を厳守して下さい。
- ☆ スライドは透視した時に正しい上下左右関係になるようにして、その手前側上方に講演番号と氏名、映写順序番号を書き、下縁に5mm位の幅の赤線をつけて下さい。ピラは用いず、スライドは講演時間内に終了できる枚数にして下さい。オーバーヘッドプロジェクターも用意いたしますので希望の方は御利用下さい。
- ☆ 今回は講演開始が午前9時。講演終了が午後5時です。
- ☆ 13日午前の講演終了後より理事会、14日の午前講演終了後より評議員会、15日午後の講演終了後(午後4時頃)より総会(天体発見賞贈呈, 諸報告, 55年度予算, 評議員改選の件等について)を開催します。
- ☆ 記念写真撮影は15日午前の講演終了後行います。
- ☆ 懇親会は14日午後の講演終了後午後5時半より山上会議所において行われます。

第1日 5月13日 午前9時より

1. 月面反射光の偏光の性質: 竹中尚人(信州大), 関口直甫(東京天文台)
 2. 白光光源の違いに依る反射率の相違: 嶋坂敬郎(京都外大)
 3. 月面細部の Albedo の一般論: 熊谷直一(明石短大)
 4. 金星の赤外偏光観測: 佐藤修二, 川良公明, 小林行泰, 奥田治之(京大理), 野口邦男(名大理), 向井 正, 向井苑生(金沢工大)
 5. 1979-80年の火星の北極冠: 岩崎恭輔, 斉藤良一(花山天文台), 赤羽徳英(飛驒天文台)
 6. NH₃(s)-Na系と木星の色: 小山晃一(東大理・近畿大原子力研), 岩沢一男, 武部尚雄(成蹊大工)
 7. 長基線での木星電波シンチレーションの観測(I): 前田耕一郎, 小田進幸(兵庫医大)
 8. 惑星間塵の帯電について: 向井 正(金沢工大)
 9. 地球軌道より外側の惑星間塵分布面: 田鍋浩義, 嵩地 厚, 宮下曉彦(東京天文台)
 10. 彗星大気中の分子分布: 山本哲生(東大宇宙研)
 11. 流星の密度: 小笠原雅弘, 寺田 充(東京理科大)
- (休 憩)
12. 池谷-関彗星(1965 f)のダスト尾の組成: 石井達朗(東京学芸大), 斉藤馨児(東京天文台)

13. COMET WEST 1976 VI のダストテイル: 赤羽徳英 (飛驒天文台)
14. スイ星, テクタイト, 地磁気等の成因: 田中義人 (東亜石油 KK)
15. 小惑星の高速衝突破壊の模型実験——高速度カメラによる記録——: 藤原 顕 (京大理), 塚本明正 (京大工)
16. 外惑星の形式: 水野 博 (京大理)
17. 太陽 EUV による原始地球大気の散逸: 関谷 実, 中沢 清, 林忠四郎 (京大理)
18. 原始太陽風と地球大気の相互作用: 桜井健郎 (京大工)
19. 原始太陽系星雲におけるダストの沈殿生長 (II): 中川義次, 中沢 清, 林忠四郎 (京大理)
20. 粗面球粒子による光の散乱: 向井苑生, 向井 正 (金沢工大)
21. 高次元 CHANDRASEKHAR 惑星問題の近似解について: 上野季夫 (金沢工大)

第 1 日 5 月 13 日 午後 1 時 30 分より

22. ヒペリオンの軌道改良 (1970 年の衝; 改訂): 畑中至純 (東京天文台)
23. 衛星の力学的分類: 古在由秀 (東京天文台)
24. L_4 のまわりの軌道について: 谷川清隆 (緯度観測所)
25. 複素 t 平面上の Hénon-Heiles の力学系: 吉田春夫 (東大理)
26. 初期値の摂動論: 堀源一郎 (東大理)
27. 太陽白斑日面中心間日心角距離の最低値: 藤村俊夫
28. ケニア日食分光観測 (I): 平山 淳, 入江 誠, 熊谷収可 (東京天文台)
29. 太陽 EUV 放射の Weakening の空間分布: 西川 宝 (京大理), 神野光男 (飛驒天文台)
30. EUV によるサージ紅炎: 久保田諄, 暮泉 武 (花山天文台)
31. コロナ輝線フィルターによるコロナループの観測: 中込慶光, 田中捷雄, 熊谷収可 (東京天文台)
32. 「たんせい 4 号」衛星によるフレア X 線輝線スペクトルの観測: 田中捷雄, 西 恵三, 守山史生, 宮崎英昭, 熊谷収可, 石川晋一 (東京天文台)

(休 憩)

33. プロミネンスノットの運動: 北井礼三郎 (京大理)
34. プロミネンス落下による彩層加熱: 川口市郎 (京大理)
35. ジェット現象の数値流体力学 (1) スピキュール: 末松芳法, 柴田一成, 西川 宝, 北井礼三郎 (京大理)
36. ジェット現象の数値流体力学 (2) サージ: 柴田一成, 西川 宝, 北井礼三郎, 末松芳法 (京大理)
37. フレアにおける開いた磁力管内のガス力学: 永井福郎 (東大理)
38. μ 波バーストの特性について: 小川英夫, 河鱈公昭, 藤下光身 (名大理)
39. μ 波 Non-Impulsive Burst の分類学と m-dm 波 Pulsation: 小杉健郎 (東京天文台)
40. 磁力管からの Synchrotron 放射と Limb Flare への応用: 常田佐久 (東大理)
41. 太陽電波 I 型バーストのモデル: 鈴木育郎, 川村憲次 (名大理)
42. 極域高速太陽風流の太陽活動に伴う変化: 柿沼隆清, 小島正宜, 鷺見治一 (名大空電研)
43. IPS の振幅確率分布について: 小池国正 (電波研鹿島支所), 小島正宜, 柿沼隆清 (名大空電研)

第 2 日 5 月 14 日 午前 9 時より

44. PZT の水銀槽: 岩館健三郎, 村上源吉 (緯度観測所)
45. ダンジョンアストロラープの機械誤差: 酒井 俐 (緯度観測所)
46. 最小自乗法に基づく PZT 整約法: 真鍋盛二, 北郷 拓 (緯度観測所)
47. 星食の古記録より得たる日本上代の時制: 齊藤国治 (日大・文理)
48. 1977-'78 年における地球自転速度の季節変化の異常励起: 岡崎清市, 酒井照夫 (東京天文台)
49. 火星の軌道改良 (IV): 新美幸夫 (東京天文台)
50. VHF 電波による原子時計位相比較実験: 中嶋浩一, 原 孝, 酒井照夫, 藤原清, 加藤 正 (東京天文台)
51. UHF 太陽風観測装置 (II): 小島正宜, 柿沼隆清, 鷺見治一, 石田善雄, 丸山一夫 (名大空電)
52. 写真乾板の適正黒みについて: 征矢野隆夫, 浜島清利 (東京天文台)
53. 既製マイクロデシメートルのデジタル処理化: 椿都生夫 (滋賀大教育)

54. SIT テレビカメラの実験(Ⅲ): 磯部秀三, 斉藤馨児, 平山智啓, 富田弘一郎(東京天文台)
(休 憩)
55. 40 cm シュミットの制御等の新システム: 辻村民之, 大谷 浩, 市川隆, 佐々木敏由紀, 斉藤恭司(京大理)
56. 40 cm シュミットのオートガイダー: 佐々木敏由紀, 大谷 浩, 市川隆, 斉藤恭司, 辻村民之(京大理)
57. 大型宇宙電波望遠鏡(Ⅰ): 赤羽賢司, 石黒正人, 井上志津代, 海部宣男, 神澤富雄, 田中春夫, 近田義広, 東條新, 中島 弘, 長根潔, 秦 茂, 平林 久, 福井康雄, 宮澤敬輔, 宮地竹史, 森本雅樹(東京天文台), 稲谷順司, 井上 允(東大理)
58. 大型宇宙電波望遠鏡(Ⅱ): 石黒正人, 赤羽賢司, 井上志津代, 海部宣男, 神澤富雄, 田中春夫, 近田義広, 東條新, 中島弘, 長根 潔, 秦 茂, 平林 久, 福井康雄, 宮澤敬輔, 宮地竹史, 森本雅樹(東京天文台), 稲谷順司, 井上 允(東大理)
59. 10 ϕ 5 素子干渉計の計算機シミュレーション: 森田耕一郎(名大空電研), 石黒正人(東京天文台)
60. Diode Array Rapid Scan Spectrometer の諸特性: 石井久司, 有本信雄, 谷口義明, 柴田克典, 田村眞一(東北大理)
61. 広視野フェーズド・アレイの試作: 大師堂経明(早大教育), 長根 潔, 平林 久(東京天文台)
62. 音響光学型干渉計像処理装置: 甲斐敬造, 小杉健郎, 塩見靖彦, 饗場 進, 沢 正樹(東京天文台)
63. 大口径アンテナによるミリ波帯太陽電波観測: 熊谷 博, 磯崎 進(電波研平磯)
64. 波長 8 cm ラジオヘリオグラフの改造について: 鳥居近吉, 柴崎清登, 鯉目信三, 築地義雄, 小林勝司, 吉見直彦, 高田重利, 西尾正則, 森田耕一郎(名大・空電研), 石黒正人, 田中春夫(東京天文台)

第 2 日 5 月 14 日 午後 1 時 30 分より

65. 最小自乗法による自己共分散関数からの余弦波の回復について: 斉藤恭司(京大理)
66. ASTRO-A 硬X線望遠鏡: 大木健一郎, 渋谷暢孝(東京天文台), 高倉達雄(東大理), 小田 稔, 小川原嘉明, 村上敏夫, 牧島一夫(東大宇宙研), 宮本重徳(阪大理)
67. MS-T4 衛星搭載スターセンサー: 小川原嘉明, 森山 隆(東大宇宙研), 亀田芳彦, 市川利男(東芝)
68. 電波源の Rotation Measure について: 田原博人(宇都宮大教育), 井上 允(東大理)
69. M51, M81 の磁場の形状について: 鷹野敏明, 祖父江義明, 藤本光昭(名大理)
70. 質量降着による星の表面金属量の増加: 吉井 譲(東北大理)
71. Galaxy の hot halo (Ⅱ): 羽部朝男, 池内 了(北大理)
72. Magellanic Stream と銀河系の“暗黒” Halo: 村井忠之, 藤本光昭(名大理)
73. 高速水素雲マゼラン雲流の距離: 渡辺 堯(名大空電研)
74. 大マゼラン雲の近赤外気球観測: 山上隆正, 宇山喜一郎(東大宇宙研), 村上 浩, 早川幸男, 松本敏雄, 小泉裕(名大理), J. A. Thomas (メルボルン大)
75. 円盤状銀河の渦状モードスペクトル(Ⅱ): 浜部 勝, 家 正則, 渡辺正明(東大理), 岡村定矩(東京天文台)
76. 木曾シュミットによる銀河の多色表面測光: 渡辺正明, 小平桂一(東大理), 岡村定矩(東京天文台)
(休 憩)
77. 楕円銀河は oblate か?: 岡村定矩(東京天文台), 佐藤耕一(東大理)
78. だ円銀河の速度分散の異方性: 会津 晃(立教大理)
79. 相対論的爆風波の伝播法則と構造: 横沢正芳, 坂下志郎(北大理)
80. Nebulosity の見られない BL Lac 型天体の偏光波長依存性: 菊池 仙, 三上良孝(東京天文台), 昆野正博(京大理)
81. NGC 1068 の dust の起源: 喜屋武昌一(立大理)
82. Markarian 421 の非熱的放射: 昆野正博(京大理), 菊池 仙, 三上良孝(東京天文台)
83. ひとつの多元的宇宙——その思弁的案出過程——: 久保守正(東海代理コスモ)
84. Weyl 幾何学の拡張に基づく新重力理論: 小幡常啓(東北大工), 大嶋 洋(東邦大)
85. 宇宙論的重力場の初期値問題: 木原正博, 成相秀一(広大理論研)
86. 原始宇宙乱流の進化: 田辺健茲, 門永高志(広大理論研)
87. 月・太陽の永年加速と変化するGの仮説: 藪下 信(京大・工)

第3日 5月15日 午前9時より

88. ニュートンの運動方程式の拡張 (V)——原子論——: 全 麒在
 89. パルサーの電波スペクトルと Sturrock 模型: 三谷健司, 三好 馨 (京都産大理)
 90. パルサー磁気圏でのビーム不安定性: 川村憲次, 鈴木育郎 (名大理), Lominadze D. G. (Abastumani Astrophysical Observatory)
 91. “はくちょう” により発見された新パルサー: 牧島一夫, 井上 一, 小山勝二, 松岡 勝, 村上敏夫, 小田 稔, 小川原嘉明, 大橋隆哉, 柴崎徳明, 田中靖郎, 田原 譲 (東大宇宙研), 近藤一郎 (東大宇宙線研), 早川幸男, 国枝秀世, 横野文命, 政井邦昭, 長瀬文昭 (名大理), 宮本重徳, 常深 博, 山下広順 (阪大理), 吉森正人 (立大理)
 92. 「はくちょう」による MXB 1636-536 の観測: 小山勝二, 井上 一, 牧島一夫, 松岡勝, 村上敏夫, 小田 稔, 小川原嘉明, 大橋隆哉, 柴崎徳明, 田中靖郎, 田原 譲 (東大宇宙研), 近藤一郎 (東大宇宙線研), 早川幸男, 国枝秀世, 横野文命, 政井邦昭, 長瀬文昭 (名大理), 宮本重徳, 常深 博, 山下広順 (阪大理)
 93. 光と X線による X線バースト (1636-536) の同時観測 (II): 大橋隆哉 (東大宇宙研), 宮本重徳 (阪大理), 井上 一, 小山勝二, 牧島一夫, 松岡 勝, 村上敏夫, 小田 稔, 小川原嘉明, 柴崎徳明, 田中靖郎, 田原 譲 (東大宇宙研), 近藤一郎 (東大宇宙線研), 早川幸男, 国枝秀世, 横野文命, 政井邦昭, 長瀬文昭 (名大理), 常深 博, 山下広順 (阪大理), H. Pedersen (ESO), L. Cominsky, J. Doty, J. G. Jernigan, W. H. G. Lewin, J. Van Paradijs (MIT)
 94. “はくちょう” により観測された 10 分間隔 X線バースト: 村上敏夫, 井上 一, 小山勝二, 牧島一夫, 松岡 勝, 小田 稔, 小川原嘉明, 大橋隆哉, 柴崎徳明, 田中靖郎, 田原 譲 (東大宇宙研), 近藤一郎 (東大宇宙線研), 早川幸男, 国枝秀世, 横野文命, 政井邦昭, 長瀬文昭 (名大理), 宮本重徳, 常深 博, 山下広順 (阪大理)
 95. “白鳥” による, MXB 1730-335 の観測: 国枝秀世, 早川幸男, 横野文命, 政井邦昭, 長瀬文昭 (名大理), 井上 一, 小山勝二, 牧島一夫, 松岡勝, 村上敏夫, 小田 稔, 小川原嘉明, 大橋隆哉, 柴崎徳明, 田中靖郎 (東大宇宙研), 宮本重徳, 常深 博, 山下広順 (阪大理), 近藤一郎 (東大宇宙線研)
 96. 中性子星表面での殻燃焼と X線バースト (I): 宮路茂樹, 花輪知幸 (東大理), 藤本正行 (新潟大高田)
 97. 中性子星表面での殻燃焼と X線バースト (II): 花輪知幸, 宮路茂樹 (東大理), 藤本正行 (新潟大高田)
 98. アクリション・ディスク内での電磁流体的不安定性: 門永高志, 堀内利得, 富松 彰 (広大理論研)
- (休 憩)
99. 星風からの非定常 Accretion モデル: 奥田 亨 (北海道教育大函館分校)
 100. VEL X-1 の X線フレア: 常深 博, 宮本重徳, 山下広順 (阪大理), 井上 一, 小山勝二, 牧島一夫, 松岡 勝, 村上敏夫, 小田 稔, 小川原嘉明, 大橋隆哉, 柴崎徳明, 田中靖郎, 田原 譲 (東大宇宙研), 近藤一郎 (東大宇宙線研), 早川幸男, 国枝秀世, 横野文命, 政井邦昭, 長瀬文昭 (名大理)
 101. 白鳥による GX 339-4 の観測: 長瀬文昭, 早川幸男, 国枝秀世, 横野文命, 政井邦昭 (名大・理), 井上 一, 小山勝二, 牧島一夫, 松岡 勝, 村上敏夫, 小田 稔, 小川原嘉明, 大橋隆哉, 柴崎徳明, 田中靖郎, 田原 譲 (東大宇宙研), 近藤一郎 (東大宇宙線研), 宮本重徳, 常深 博, 山下広順 (阪大理)
 102. AM Her からの放射のモデル: 和田敏明, 清水 明, 鈴木政時, 加藤万里子, 蓬茨霊運 (立大理)
 103. 軟 X線で見えた North Polar Spur: 山下広順 (阪大理), 早川幸男, 岩波秀樹, 国枝秀世, 長瀬文昭 (名大理)
 104. “EINSTEIN” 衛星による小マゼラン雲の観測: 井上 一, 小山勝二, 松岡 勝, 大橋隆哉, 田中靖郎 (東大宇宙研), 山下広順 (阪大理)
 105. NGC-253 の近赤外観測: 宇山喜一郎 (宇宙研), 松本敏雄 (名大理), J. A. Thomas (メルボルン大)
 106. 恒星系の重力熱的破局について (II): 稲垣省五 (京大理)
 107. 連星系と単独星との近接遭遇の数値実験 (II): 吉澤正則 (東京天文台)
 108. 軸対称恒星系の数値計算 (II): 渡辺好夫, 稲垣省五, 加藤正二 (京大理)
 109. 球状恒星系の速度分布関数: 佐藤耕一 (東大理)

第3日 5月15日 午後1時30分より

110. 恒星系 Toomre 円板の非線型大局的安定性: 西田実継 (京大理), 吉澤正則 (東京天文台), 加藤正二 (京大理)

111. Old Disk の bending の観測——Our Galaxy——: 市川 隆, 佐々木敏由紀 (京大理)
112. 最尤法による絶対等級と分散の決定: 三上孝雄 (東大理), André Heck (IUE 天文台)
113. 銀河の表面輝度と色について: 石田蕙一 (東京天文台), 三上孝雄 (東大理)
114. 赤外線による銀河面のサーベイ (IV): 小笹隆司, 川良公明, 小林行泰, 佐藤修二, 奥田治之 (京大理), 浜島清利, 石田蕙一 (東京天文台)
115. 銀河系中心部における M 型星の掃天: 浜島清利 (東京天文台), 市川 隆 (京大理), 石田蕙一 (東京天文台), B. Hidayat, M. Rahart (Bosscha 天文台)
116. 銀河面に分布する星間塵の熱輻射: 芝井 広, 小田直樹, 舞原俊憲, 奥田治之 (京大理)
117. 銀河系の磁場構造について: 井上 允 (東大理), 田原博人 (宇都宮大・教育)
118. 銀河の渦状衝撃波: 松田卓也, 猪坂 弘 (京大工)
119. 銀河系における CO 分子の分布: 沢 武文, 栗田達哉 (愛媛大), 佐場野裕 (東北大理)
120. 銀河の北極方向に於ける halo dwarf の重元素組成分布 (III): 大道 卓, 吉井 譲 (東北大・理)
121. 星間偏光から求めた I. S. Grain の α 分布: 関 宗蔵 (東北大・教養)
122. 銀河内のパルサーと熱電子の大域的分布: 平林 久 (東京天文台)
123. 銀経 12° - 45° の HI 自己吸収 (II): 福井康雄 (東京天文台), 長谷川哲夫 (東大理), 佐藤文男 (千葉県教育センター)

第 4 日 5 月 16 日 午前 9 時より

124. 自己伝播する熱不安定性: 佐場野裕 (東北大理), 祖父江義明 (名大理)
125. 星間雲からの磁束の漏出とグレイン: 中野武宣, 梅林豊治 (京大理)
126. アモルファス星間塵——その生成機構——: 関 淳二, 長谷川博一 (京大理)
127. 星間における直鎖炭素分子の生成: 鈴木博子 (京大理)
128. HII 領域の水素原子 Population Structure: 篠原正雄 (東大理)
129. S 237 の写真測光: 水野 舜 (金沢工大), 作花一志, 佐々木敏由紀, 小暮智一 (京大理)
130. 古い超新星残骸の光学スペクトル: 大谷 浩 (京大理)
131. 超新星放出物質中の発光衝撃波 (I): 伊藤 裕 (京大理)
132. 原始星での化学バンピング・サイクルによる HO メーザー作用について: 近藤正明 (東大教養)
133. KL 天体の流体力学的取り扱いと分子線輪郭: 井上正男 (京大理)
134. オリオン領域の HCO^+ 観測: 面高俊宏 (杏林大), 長谷川哲夫, 浮田信治, 稲谷順司 (東大理), 海部宣男 (京天文台)

(休 憩)

135. オリオン星雲内星の H-R 図: 佐々木五郎, 磯部秀三 (東京天文台)
136. M16 領域の低温 HI ガス (II): 佐藤文男 (千葉県教育センター), 福井康雄 (東京天文台), 長谷川哲夫 (東大理)
137. W51 領域の HCO^+ 観測: 長谷川哲夫, 浮田信治, 稲谷順司 (東大理), 面高俊宏 (杏林大)
138. 木曾星野標準測光系列観測計画と実施: 近藤雅之, 渡辺悦二, 湯谷正美, 野口 猛 (東京天文台)
139. 奇妙な星: 古畑正秋
140. δ Sct 型変光星 BD+43° 1894 の発見: 岡崎 彰 (東大理), 山崎篤磨 (東大教養), 北村正利 (東京天文台)
141. アルゴルの三色測光: 宮崎高一, 下田真弘 (東京学芸大)
142. 食連星光度曲線のフーリエ解析法——北村の食の特性函数——: 山崎篤磨 (東大教養), Z. コパール (マンチェスター大)
143. 105 cm シュミット望遠鏡による炭素星分類: 前原英夫 (東京天文台)
144. 高温炭素星 (R 型) の $^{12}\text{C}/^{13}\text{C}$ 比について: 藤田良雄 (東海大)
145. 低温炭素星大気構造の元素組成への影響 (I): 平井正則, 小林美知彦 (福岡教育大)

第 4 日 5 月 16 日 午後 1 時 30 分より

146. M 型巨星スペクトルの定量解析: 辻 隆 (東京天文台)
147. 晩期型星の質量損失 (II): 渡辺鉄哉 (東大理)

148. 球状星団の赤色巨星の減光: 有本信雄 (東北大理)
 149. 球状星団の HR 図に及ぼす Z_{CNO}/Z の影響: 中村誠臣, 有本信雄 (東北大理)
 150. オリオン SiO メーザ源のシエルの構造: 浮田信治 (東大理), 近田義広, 宮地竹史, 宮沢敬輔, 海部宜男 (東京天文台)
 151. フレア星 YY Gem の H_{β} 線の変化: 市村喜八郎 (岡山観測所), 小平桂一 (東大理)
 152. 輻射平均強度 J と輻射流束 F の計算法: 吉岡一男 (日本私学教育研究所), 成相恭二 (東京天文台)
 153. Vega の金属量と微小乱流速度: 定金晃三, 西村昌能 (大阪教育大)
 154. Mn-Hg 星における Hg II と Pt II の UV 線スペクトル: 高田昌英 (東大理), 寿岳 潤 (東京天文台)
 155. Maia の化学組成について: 門 正博, 平田龍幸 (京大理), 定金晃三 (大阪教育大)
 156. ガス殻星 τ の長周期変化の解釈: 平田龍幸 (京大理), 伊藤周宮子 (ムードン天文台)
- (休 憩)
157. プレオネ (1978 年) の外層大気について: 片平順一 (堺市科研), 平田龍幸 (京大理)
 158. Be 連星の統計的性質について: 小暮智一 (京大理)
 159. 吸収係数のヘリウムランプについて: 李 宇珉, 尾崎洋二 (東大理)
 160. 非動径振動に対する不安定帯の高温側境界: 柴橋博資, 尾崎洋二 (東大理)
 161. 磁気斜回転体の作る電磁場 (III)——共回転解——: 鎗木 修 (東北大理)
 162. 星風解に対する慣性項の影響: 柴田晋平, 鎗木 修 (東北大理), 岡崎幹郎 (鶴岡高専)
 163. 衝撃波伝播の定常的扱い (CWO) の拡張: 石塚俊久 (茨大理), 田中靖夫 (茨大教育)
 164. 質量の中心集中度と慣性モーメントの関係: 知念正剛 (福歯大)
 165. 相対論的回転星 (II): 江里口良治 (東大教養)
 166. 軸対称一般相対論的重力崩壊: 中村卓史 (京大基研), 前田恵一, 観山正見, 佐々木節 (京大理)
 167. 重力波のみ存在する時空の時間発展: 観山正見 (京大理), 中村卓史 (京大基研), 前田恵一, 佐々木節 (京大理)